

厚生労働大臣 上野賢一郎 殿

令和8年4月10日

「OTC 類似薬への特別料金」導入の撤回を求める要望書

NPO 法人日本アトピー協会
難病患者の家族
全国保険医団体連合会
東京土建一般労働組合
新日本婦人の会
全国商工団体連合会

【要望趣旨】

相次ぐ物価の上昇が国民生活を圧迫する下で、政府が OTC 類似薬の保険外しによって患者負担を増大させる「特別料金」という新たな負担を迫ろうとしていることに不安の声が広がっています。

3月9日から31日まで実施した「OTC 類似薬負担増についてのアンケート」では、20代から70代まで共通して「一度導入されれば、対象薬や金額が際限なく拡大されるのではないか」という強い懸念が示されました。

「特別料金を避けるために受診を控える」という回答が多数寄せられている事実は、看過できません。経済的理由で医療へのアクセスを断念させることは、国民皆保険制度の根幹である「必要な医療を、誰もが、いつでも受けられる」という原則の崩壊を意味します。これは、将来的な重症化を招き、国が目指す「医療費適正化」に逆行する結果となります。

特別料金の実施によって、医療機関や薬局は患者から説明を求められるなど、疲弊する医療現場にさらなる事務的・精神的負荷が強いられば地域医療の衰退を招く要因となります。

こうした趣旨から、以下事項の実現を図っていただくよう要請します。

【要望項目】

1. 「OTC 類似薬への特別料金」導入の白紙撤回を求めます。

以上